

ホテル、病院、老健施設、事務所の
カーボンニュートラル・脱炭素へ。

給湯・温水・空調 関連 ヒートポンプ製品

ご 提 案 機 種

業務用エコキュート

CO₂冷媒
Q-ton
Air to Water

〈30kW〉

温水供給温度:

60~90℃


 極寒でも熱湯給湯
-25℃ → 90℃

 寒くても能力低下なし
-7℃ → 100%

循環加温ヒートポンプ

R454C冷媒

Q-ton
Circulation

〈40~50kW〉

温水供給温度:

40~75℃


 地球温暖化係数
GWP:145

 極寒でも高温給湯
-20℃ → 75℃

空冷ヒートポンプチラー

R32冷媒

MSV2

〈118~200kW〉

温水供給温度:

25~55℃


 冷却COP
3.70

 加熱COP
3.62

 IPLVc.
5.5

 すべて
50馬力

導入事例

Q-ton
Air to Water

ホテル

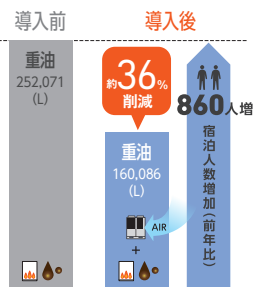
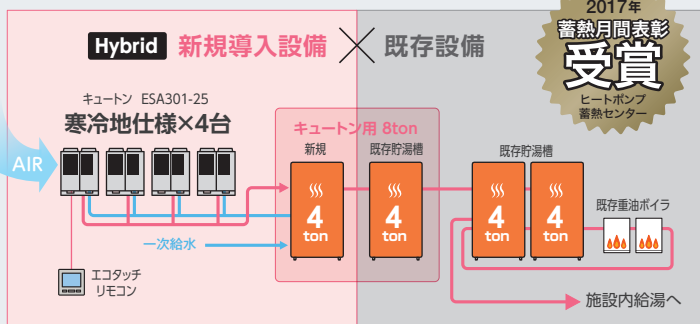
富士急行株式会社 ホテルマウント富士 様

宿泊客数を増加させた中で、「重油削減:36%」「CO₂削減:223トン」の達成に成功。



既存ボイラと、ヒートポンプを組み合わせたハイブリッドプラン

用途: 浴槽、浴室への給湯で使用



A重油価格調査局別推移/全国平均(大型ローリー納入価格):2012年(77.8円/L) 2013年(89.5円/L)

導入事例

Q-ton
Air to Water

病院

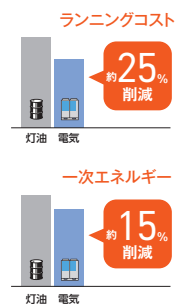
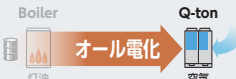
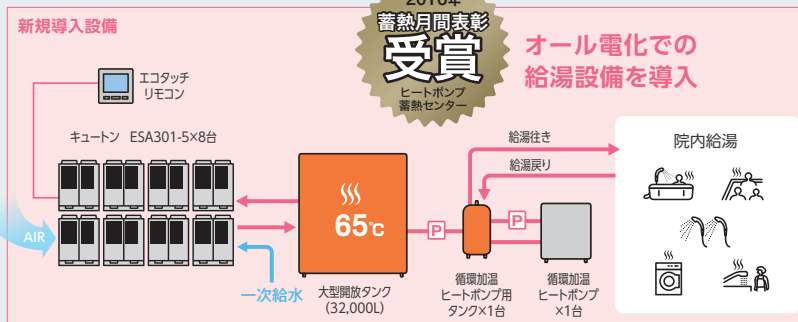
医療法人社団慈豊会 久藤総合病院 様

灯油ボイラーからオール電化(補助金利用)へ移行。燃費、CO₂削減、どちらも良い結果に。



深夜電力の有効活用。空調を含めたオール電化へ切り替え

用途: 院内の浴槽、浴室、洗濯で使用



調べ/厳冬期含む1月~5月期(前年比)

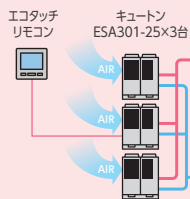
ボイラの燃料費高騰や管理から、省エネ性が高く扱いやすいオール電化へ完全移行。



100%ボイラ給湯から、オール電化へ切り替え

用途：施設内の浴槽、浴室、厨房で使用

新規導入設備



既存設備



2017年
蓄熱月間表彰
受賞
ヒートポンプ
蓄熱センター



ランニングコスト

削減目標
約55%

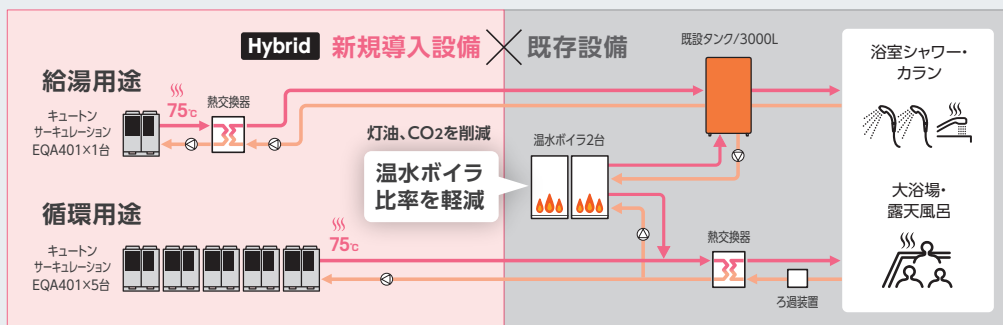
CO2
削減目標
約53%

給湯と循環加温、2つの導入で温水ボイラ比率を軽減し、灯油量とCO2排出量の削減に成功。



既存ボイラと、ヒートポンプを組み合わせたハイブリッドプラン

用途：施設内の浴槽、浴室への給湯 & 浴槽の保温で使用



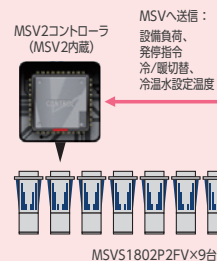
Modbus®通信線によってセントラル空調の省工事化を実現。



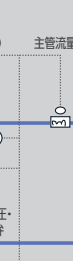
冷暖房熱源の保全工数、コストを低減。運用面もラクに

用途：冷暖房用の熱源として使用

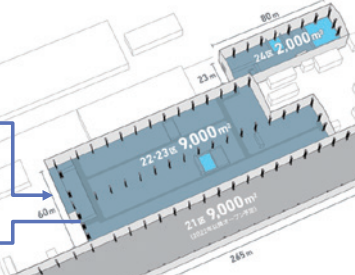
新規導入設備



既存設備



空調エリア俯瞰図



Modbus通信線1本で2次側の情報伝達だけでなく、MSV2の運転、停止の操作や9台分の運転情報、負荷情報など送受信することで省工事化へ。